

令和6年度三重県在宅医療・介護連携の推進にかかる調査分析事業

目的

高齢者が重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる「地域包括ケアシステム」を深化・推進していくためには、各保険者（市町村等）が住民のニーズを的確に捉えた上で地域のめざす姿を明確化し、データ等を用いて現状との乖離状況を定期的に分析することで、地域の特性に応じた効果的な取組を立案することが求められる。

このため、保険者支援として、「地域包括ケア『見える化』システム」をはじめとする様々なデータソースから把握できる情報や、各種アンケート調査の結果等から見える地域の特徴を分析し課題を抽出できるよう分析のサポートを行う。

用いたデータ

地域包括ケア「見える化」システム
介護保険事業状況報告（年報・月報）
介護保険総合データベース
業務分析データ（要介護認定適正化事業）
NDB(National Database)
三重県の健康寿命 等